

160人のランナーが激走!



第38回 村民駅伝競走大会

村教育委員会主催の伝統行事「第三十八回村民駅伝競走大会」が、十一月三日・文化の日に開催され、九つの地区コミュニティから十六チーム、総勢百六十人の選手が参加。

当日は、気温が低く肌寒いコンディションでしたが、どの選手も寒さを感じさせない熱い走りを見せてくれました。

川北Aチームが4連覇を達成

午前十時。女川小学校グラウンドのスタート地点からタスキをかけた十六人の選手が一斉にスタート。ゴールの村民会館まで三十二・三km、十区間で争われる村民駅伝が幕を開けました。

一区では女川A、川北A、霧出Aが一歩抜け出し、そのあとに川北B、上関A、下関Aと続きました。レース序盤から中盤にかけて、川北Aと霧出Aの二チームによる激しい先頭争いが繰り広げられ、そのあとに続いた下関Aと女川Aによる三位争いも目が離せない展開。レース終盤は、川北Aチームが底力を見せつけ、七区を走った平田達哉選手(平内新)が区間新記録となる快走で二位の霧出Aチームを突き放しました。結果は、

川北Aチームが四年連続、通算二十三回目の優勝。また、準優勝は霧出Aチーム、三位に下関Aチームが入りました。

四連覇を達成した川北Aチーム監督・須貝敏雄さん(高田)は「監督として過去に四連覇の経験が二回ありますが、まだ五連覇はありません。来年も優勝し、ぜひ五連覇を達成したいです」とすでに来年を見据えています。

また、四ヶ字Bチームで6区を走った六年生の渡辺樹さん(南赤谷)は「タスキをもらったとき、前に一人ランナーがいたので追いつこうと頑張りました。一度追いついたのに、ゴール手前で逆転された悔しかったです。でも追い越せたことが自信になりました」と感想を話していました。

区	選手	タイム
1区	南中、小和田	3分03秒
	佐藤 雅史(松ヶ丘)	
2区	小和田、上野新	10分40秒
	平田 光(小見)	
3区	上野新、高田	15分40秒
	須貝 裕(高田)	
4区	高田、大島	3分11秒
	田村 弥一(高田)	
5区	大島、上土沢	10分08秒
	須貝 剛志(高田)	
6区	上土沢、上関	6分12秒
	須貝 秀之(高田)	
7区	上関、上川口	7分24秒
	平田 達哉(平内新)	
8区	上川口、高瀬	12分59秒
	須貝 惣太(高田)	
9区	高瀬、滝原	11分29秒
	須貝 隆平(高田)	
10区	滝原、村民会館	16分14秒
	近 祐希(高田)	
合計タイム		1時間53分49秒

区間賞 (敬称略)		印は大会新記録
区間(距離)	氏名(チーム名・集落)	記録
1(3.0km)	大島 竜也(女川A・上野新)	10分39秒
2(4.3km)	駒沢 和也(霧出A・楸江沢)	15分34秒
3(3.1km)	須貝 裕(川北A・高田)	10分8秒
4(1.7km)	傳 崇宏(霧出A・大島)	5分59秒
5(2.1km)	須貝 剛志(川北A・高田)	7分24秒
6(3.8km)	加藤 護男(七ヶ谷A・鮎谷)	12分47秒
7(3.5km)	平田 達哉(川北A・平内新)	11分29秒
8(4.6km)	横山 太樹(女川A・上新保)	15分39秒
9(2.9km)	須貝 隆平(川北A・高田)	11分00秒
10(3.3km)	近 祐希(川北A・高田)	12分3秒

チーム記録		
順位	チーム名	記録
1	川北 A	1時間53分49秒
2	霧出 A	1時間55分30秒
3	下関 A	2時間1分18秒
4	女川 A	2時間1分38秒
5	川北 B	2時間5分29秒
6	上関 A	2時間6分19秒
7	四ヶ字 A	2時間7分17秒
8	九ヶ谷	2時間8分9秒
9	七ヶ谷 A	2時間8分16秒
10	湯沢	2時間11分45秒
11	霧出 B	2時間12分3秒
12	下関 B	2時間18分59秒
13	女川 B	2時間20分55秒
14	上関 B	2時間24分52秒
15	七ヶ谷 B	2時間25分19秒
16	四ヶ字 B	2時間26分34秒

通算表彰

駅伝競争大会に出場している選手を村教育委員会(菅原清委員長)が表彰しました。



須貝 克幸(高田)

通算20回出場選手

本間 隆幸(安角)
伊藤 敏(上関)

通算30回出場選手

今年は12人の鉄人が表彰されました。通算30回って、本当にすごい記録ですね。表彰された皆さん、おめでとうございます。

敬称略

船山 大伸(勝蔵)

連続15回出場選手

船山 知紘(下川口)
河内 卓(湯沢)
船山 利勝(勝蔵)
高橋 良平(金俣)
平田 澄人(滝原)
長野 涉(上土沢)
佐藤 宏助(下関)
渡辺 拓巳(下関)

通算10回出場選手

